

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

異南小	学校
-----	----

児童数	33
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.23	17.64	31.43	40.57	37.64	9.69	135.38	22.64	49.62
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	16.64	16.50	36.45	37.90	24.55	10.40	122.36	13.55	47.79
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

体力合計点において、男子、女子共に、大阪市及び全国平均を共に下回っている。個別の種目をみると、男子において、大阪市・全国平均値を共に上回ったのは1種目（ソフトボール投げ）であり、反復横とびは大阪市平均値を上回っていた。女子においては、大阪市・全国平均値を共に上回っていたのは2種目（握力・ソフトボール投げ）であり、反復横とびは大阪市平均値を上回っていた。

児童質問紙調査では、「運動やスポーツをすることは好きですか」の肯定的回答は、男子93.4%・女子85.8%であり、高い割合で肯定的に回答していた。なお、昨年度の回答では、男子100%・女子約7割であった。また、「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、男子15.4%・女子26.3%であり、女子の割合が高くなっている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

「なわとび週間」の設定や「運動委員会による低学年との運動ふれあい活動」、「休み時間の講堂開放」を行うなど、児童の体力向上・運動する機会が増加するように努めてきた。また、教職員が児童と共に休み時間に外遊びを行う姿が普段からよく見られる。こうした教職員の姿も、児童の健康な体づくりや運動に対する意識・意欲の向上につながっていると考えられる。

児童の運動に対する意識については、肯定的な回答の割合が高くなっているが、「体力・運動能力調査」の結果は、大阪市・全国平均値より低くなっている種目が多い。今後は、授業においては、個々の児童に合わせたスモールステップの目標設定やICT機器等を使用し動きの確認をすることなど学習内容や指導方法を工夫し、児童が成果を実感できるように取り組みを考える必要もある。児童質問調査の「1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。」の回答からも家庭との協力を更にすすめていくことも検討していく。